

# 事業計画書

平成 31 年度版





# ～平成31年度の主な事業計画～

社会福祉法人 未来こどもランド

## 社会福祉事業

### 第二種社会福祉事業

保育所 練馬区立石神井町つつじ保育園

保育所 練馬区立光が丘第十保育園

小規模保育事業 すまいるベリー保育園

放課後児童健全育成事業 未来こどもランド学童保育

地域子育て支援拠点事業 子育てのひろば すまいる石神井

地域子育て支援拠点事業 子育てのひろば すまいる高野台

障害児通所支援事業 放課後等デイサービスすまいる・ステップ

障害児通所支援事業 児童発達支援すまいる・キッズ

障害児通所支援事業 放課後等デイサービスすまいる・ツリー

障害児相談支援・特定相談支援事業 未来こどもランドすまいる相談支援室

障害福祉サービス事業 就労継続支援B型すまいる・フォレスト

## 公益事業

公益事業 「みんなのカフェ」すまいる・ヴィヴィファイ

◆法人◆

1) 概略

- 法人名 社会福祉法人未来こどもランド  
○所在地 東京都練馬区谷原5-22-2 MKLビル  
○代表理事 栗原三津子  
○設立認可年月日 平成26年4月8日  
○法人登記年月日 平成26年4月8日

2) 理事、監事、評議員

今年度の理事（6名）、評議員（7名）、監事（2名）は次の通り

理事長 栗原三津子

理事 岩瀬秀明 平山晴一 鈴木真 東江福江 石川美穂

評議員 平田美穂 玉置方里 村上環 遠藤由美子 長島庫子 石井孝弘 上田ゆき子

監事 田渕順三 船越敏万

3) 理事会の開催予定 ~5月・8月・12月・3月を予定

## 練馬区公立園受託事業

### 平成 31 年度 石神井町つつじ保育園 事業計画

#### ～事業方針について～

##### 2018 年度を振り返って

平成最後の年は様々なことが重なり、職員にとって乗り越えなければならない壁がいくつもあった。前年の運営委員会や臨時工事説明会、春の保護者会において、空調工事による行事の変更や年長児クラスがえーるの保育室で生活すること、三週間おきにクラスの引っ越しがあることを丁寧に説明した。また震災発生が、熊本、北海道に続き大阪で約三ヵ月おきにあり、災害列島としてレベルが上がった。東京も南海トラフ・首都直下型の地震発生が予想されることから、年長組の日和田山登山はリスクが高い、また遠い公園への遠足は避けたいとの園側の意向を話した。保護者からは残念だとの声があったが、概ね理解は得られた。

例年 10 月に行われる「みんなで遊ぼう会」を 6 月 30 日（土）に実施することはどのクラスも身長・体重もまだ小さく同じことをするには、子どもへの負担が大きいと思ったが、保護者の期待も高く特に年長組の荒馬は講師と相談をしながら進めた。2 歳児クラスの参加についても自由参加とした。保護者の期待に応えた内容で会を終えることが出来た。

7 月より第三者評価が始まった。利用者調査では 68 名の保護者がアンケートに答えた。否定的な意見はなく、98.5% の高い評価を得た。工事は、設計者と施工業者が別のため 9 月いっぱい園庭が使えないとの予定であったが、バリケードを建てても広かったので工夫をすれば園庭でも日程を変更せずとも行事が出来たのではないかと悔やまれる。工事の騒音に悩まされたが施工業者の努力で保育園が出来るだけ普通に生活できるようにしてもらったことや事前の丁寧な説明が保護者の安心感に繋がった。工事が 2 月末までかかったため、3 月に乳幼児大きくなったね会と卒園式の大きな行事を短期間でこなさなくてはならず、ハードな年度末となった。

幼児大きくなったね会では、まだ自分を表現する途上の子もいるが昨年と比べると伸びており、多くの子どもは自分の力を伸び伸びと發揮していた。乳児大きくなったね会は、今年から土曜日主催を平日に方法を変えたが保護者から 特にクレームはなかった。

以上の記述では行事主体の印象になってしまいますが、大切なことは、普段の日常の積み重ねが行事に力を発揮できる基盤となっていることであり実践してきた。

今年は新保育所指針が本格的に施行され、保育も「行事ありき」ではなく行事へ向かう過程で友だちとの関係を深めるような取り組みや、自分たちで考え工夫するところが体現されていた。全て大人が綺麗に仕上げてお仕着せであるより、自らが主体的に学んでいく第一歩を踏み出せたのではないか。子どもが自信を持って卒園していく姿に年長組の保護者から喜びの惜しみない拍手があった。乳児保育が子どもの根っこであることも理解され、栄養・保健・環境が一体となった保育の中で「つつじ保育園でよかったです」の声がたくさん聞かれた。全職員でいくつもの壁を乗り越え、チームワークも深まった。

## 2019年度に向けて

～課題～

(職員として)

- ・理念を掲げ、新保育所指針を読み込みながら人権意識を持って保育を追求していく。  
(人の保育を見ながら良いところを探り入れ、自分の持ち味を活かして保育をする)
- ・保育環境(職場環境)の大切さを学び子らと共に職員も向上できる環境を整備する。
- ・乳児は、子どもの発達の課題を明確にし、チームで共有し働きかける。
- ・幼児は主体的な学びとは、どういうことが常に意識し幼児会議で議論する。
- ・職業人として苦手意識の克服をする。➡先輩に学ぶ・研修の参加など
- ・研修無くしては良い仕事は出来ない➡生涯、勉強。本を読んだり幅広く色々なことにトライできる  
自分に高める。
- ・昨年実現しなかった「わらべ歌」の研修を企画。理論と実技で、幼稚園園長を講師として来て頂く予定。

(日常的なこと)

- ・事務所に出入りをする時は、「カメラを取りにきました」「児童票●●冊戻します」などの目的を確認のため言う。必ず持ち出し簿に記入する。
- ・情報セキュリティーの徹底を図る。カメラを戻した時、メディアが入っているか確認!
- ・物がなくならない安全な職場をつくる。声を掛け合って、確実に鍵を戻す。
- ・玄関の鍵のリスクを確認し合い、E番が済んだら誰も入らないことを徹底する。
- ・ロッカーに鍵をかける習慣。保育中はもちろん、ロッカーの鍵は帰る時も掛け、朝起きたら開けることが基本。家の鍵と一緒に持つ。
- ・相談室に個人情報を置かざるを得ない時があるので、鍵つきの部屋にする。不用心な時はかけるようにする。

(事務のこと)

- ・年休をとる前に年休簿を園長に提出。病気の時は勤務につく前に提出。計算はしない。
- ・黒のボールペンで書く。数字などの訂正是二本線で訂正印が必要。
- ・超勤について【時間のめやす】

**事前申請** 超勤をしない時は退勤する。メリハリのある働きかたをする。

クラス会議・・・2時間厳守

できるだけ昼間に振り返りと課題解決に取り組み月に一回を目標！

クラスだより・・・1時間

年間カリキュラム・・・2時間

月のカリキュラム・・・1時間

個別・・・1時間の範囲

(室内環境整備などについては要相談)

## 平成31年度 光が丘第十保育園 事業計画

### ～基本方針～

#### (1) 園目標の実現に向けて

- ・健康なこども
- ・意欲的で心豊かなこども
- ・自分で考え行動するこども

\* 養護と教育が一体となって、豊かな人間性をもった子どもを育成するには、保育者の倫理観、人間性、専門性、未来こどもランドの理念の理解が求められる。園内外の研修の他、日常の仕事を通し、保育士に資質向上をめざす。職務に必要な態度や価値観、知識、情報、技術を習得する。また、子どもが安全で情緒の安定した生活ができ、自己を十分に発揮できる環境の充実を図る。

#### (2) 保護者支援

\* 保護者が安心して子どもを預け仕事に向かうことができるよう、そして子育てが楽しくなる支援を保育園の場を通して行っていく。

保護者会では、保護者同士や保育者と子どもについて話合えるよう、参加して良かったと思える内容にするために事前準備を十分におこなう。保育参加について、保育士体験型にし共育てに繋がる機会にしていく。

廊下に設置した保護者からの「ご意見ボックス」を活用し、保護者の意見、要望について把握し園運営に役立てるとともに、改善できる部分は行って行く。

行事では子どもの姿をご覧いただく中で成長を喜びあい、子どもの素晴らしさを実感してもらえるように、無理なく見通しをもちながら取り組んでいく。

地域交流事業について、参加者が少ないとことから、お誘いの掲示や呼びかけをして、参加参加率をあげていく。

#### (3) 安全管理

避難訓練、不審者対応訓練等、日頃訓練を行う中で園児、保護者、職員の意識を高めると共に、園長不在時は副園長がリーダーとして役割を果たす。

日々、ヒヤリハットの段階で危険因子を検討し改善することで、事故がないようにしていく。

施設について、点検を定期的に行い安全管理に努める。改修について（園庭の危険個所、各クラス室、プール、トイレ、バギー置場）その他、確認しながら区に要請していく。

#### (4) 職員がやりがいをもち、働く職場づくり

\* クラスだけでなく横の連携を密にする。お互い声をかけあい話し合い、仕事ができる環境をつくる。職員とし、それぞれが役割をもち目標を立て達成感をもち仕事ができる職場。休みがとれる職場にする。

	月の主題	保育のねらい	年間行事	食育	保健指導
4 月	保育園大好き	・新しい環境に慣れる ・リズムある生活を作る	・新入園児説明会 ・入園、進級祝い会 ・子どもの日祝い会	・楽しく食べる	・身体計測 ・春の健康診断
5 月	元気な子ども	・戸外活動を楽しむ ・情緒が安定し、友達と遊ぶことを楽しむ	・保護者会 ・バス遠足	・朝食の大切さ	・虫刺されの予防
6 月	雨だって楽しい 保育園	・いろいろな素材や用具を使って自由に表現して遊ぶ	・プール開き	・食事のマナー	・衛生に気を付け梅雨時期を健康に過ごす・歯科健診 ・プル遊びの安全
7 月	夏を元気に過ごす 夏の遊び 水と泥んこ	・さまざまな夏の遊びを十分に経験する	・七夕 ・七夕コンサート ・こども縁日	・野菜の収穫 ・水分補給について	・手洗い指導 ・夏の健康指導
8 月		・友達と一緒にプールで遊んだり水に親しむ	・プール閉まい	・暑さに負けない体力づくり	・皮膚の清潔 ・頭髪の清潔
9 月	外遊び大好き	・様々な経験したことを、言葉や制作、体を使って表現する	・祖父母の会 ・お月見	・秋の野菜、魚を味わう	・秋の健康指導 (体力作り、薄着の習慣)
10 月	体をたくさん動かそう	・体を使って遊ぶ楽しさを知る	・運動会	・食事のマナー	・怪我の予防 ・秋の健康診断
11 月	秋の自然はお友達	・秋の自然に触れる ・いろいろな素材を使って遊ぶ	・思い出遠足 ・お弁当遠足	・調理保育 ・歯と食事	・歯科健診 ・手洗い、うがい指導
12 月	楽しいこといっぱい	・身の回りのことに興味、関心が広がり、友達と一緒に楽しむ	・わくわくお楽しみ会	・寒さに負けない体力づくり	・冬の健康指導 (風邪・インフルエンザ予防の衛生習慣) 空気乾燥への配慮
1 月	伝承遊びをする 子どもは風の子	・お正月遊びを友達と楽しむ	・新年お楽しみ会	・冬野菜を味わう	・生活リズムの見直し ・歯磨き指導
2 月	友達大好き	・友達と共に喜びを知り、友達関係が深まる	・節分 ・大きくなったね会	・食事のマナー ・ひな祭り会食	・姿勢について
3 月	大きくなったね 成長の喜びを知り、	・就学、進級に期待を持つ	・ひな祭り ・保護者会	・卒園児をお祝いする ・年長リクエスト給食	・新入園児健康診断

体を大切にする	卒園式	
---------	-----	--

家庭指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々連絡帳にて、家庭との連携を図る</li> <li>・園だより、クラスだより、献立表、保健だより、栄養だよりを配布する。</li> <li>・運動会、大きくなったね会、卒園式への保護者参加</li> <li>・保護者会、保育参加、個人面談を行う中で信頼関係を深める。</li> </ul>	月例行事
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生児を祝う</li> <li>・避難訓練</li> <li>・身体計測</li> </ul>	

## 備考

※兄弟すずめの取り組み

3.4.5 歳が兄弟関係を作り関わりを深める

※保育園事業内容

- ・産休明け保育・障害児保育・育児相談
- ・地域交流・体験学習・地域交流
- ・ボランティアの受け入れ

## 不審者訓練（6.8.11.1月）

令和元年 6 月	園長・副園長・職員 園児	光が丘警察署	警察署の方の話を聞く 「58番」(不審者発見のことば)で速やかに知らせ 避難訓練体制をとる
令和元年 8 月	園長・副園長・職員 園児		前回の訓練を参考に状況把握を行い、安全確保する
令和元年 12 月	園長・副園長・職員 園児		散歩先での不審者訓練 (各クラス毎行い、避難の仕方や園への連絡方法等を 学ぶ)
令和元年 1 月	園長・副園長・職員 園児		6 月の訓練を参考にし、不審者の発見場所や、不審者の 内容を変えて訓練をする。

## 小規模保育事業 事業計画書（小規模保育事業A型）

2019年度 すまいる・ベリー保育園 事業計画書

1 利用定員 19名 (弾力により増員3名まで対応)

2 職員定数 常勤9名 非常勤5名

3 事業開始年月日 平成27年4月1日

### 4 事業運営基本計画

年齢	年間目標
0歳児 定員5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとりひとりの欲求を受け止める中で情緒の安定を図る。</li> <li>・歩行の完成を目指しながら、全身を使った遊びも楽しむ。</li> </ul>
1歳児 定員6名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した生活リズムの中で、食事・排泄・着脱など自分でしようとする。</li> <li>・保育者や友だちに关心をもち関わって遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>
2歳児 定員10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でできることは自分でしようとする。</li> <li>・生活や遊びの中で、身近な大人や友だちと言葉のやりとりを楽しむ。</li> <li>・友だちと共に通のイメージをもち、友だちと一緒にいる喜びを味わう。</li> </ul>
その他 (年間行事等)	<p><b>年間行事予定</b> (実施月は予定です。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入園説明会（4月）・子どもの日祝い会（5月）・七夕会（7月）</li> <li>・水あそび（7月～8月）・お月見の会（9月）・あそぼう会（9月）</li> <li>・クッキー作り（11月）・年末お楽しみ会（12月）</li> <li>・新年お楽しみ会（1月）・節分（2月）・ひな祭り会（3月）</li> <li>・大きくなったね会（3月）・お別れ会（3月）</li> <li>・保護者会（5月）、個人面談（10月）</li> </ul> <p><b>毎月の予定</b></p> <p>避難訓練（地震・火災）身長、体重計側</p> <p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生日会（一人ひとり）・不審者対応訓練（年3回）</li> <li>・水害避難訓練（年1回）</li> </ul> <p><b>健康診断</b></p> <p>定期健康診断（年2回）</p>

### 5 運営方針

(1)入所する乳児および幼児（以下「利用乳幼児」という。）の最善の利益を考慮

し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場を提供するよう努める。

(2)保育に関する専門性を有する職員が、家庭との緊密な連携の下に、利用乳幼児の状況や発達過程を踏まえ、保育を行なう。

(3)利用乳幼児の家庭や地域との様々な社会資源との連携を図りながら、利用乳幼児の保護者に対する

る支援および地域の子育て家庭に対する支援等を行うよう努める。

## 6 毎日の保育の流れ

### (1) 1日の保育スケジュール（目安）

0歳児	時間帯	1～2歳児
順次登園	7：30～	順次登園
健康観察		健康観察
室内遊び		室内遊び
水分補給	9：00	水分補給
外遊び（外気浴・お散歩）	9：30	外遊び（お散歩）
授乳・離乳食・食事	10：00～	
睡眠	11：00～	食事
目覚め		睡眠
授乳・離乳食	14：00～	
おやつ	14:30	目覚め
室内遊び	15:00	おやつ
		外遊び・室内遊び
水分補給	16：30～	水分補給
順次降園	17：00～	順次降園
	18：30	

※年齢や季節などにより、生活時間が異なる。

### (2) お散歩のコース（書面で散歩コースを確認し、その都度コース名を記入している）

0歳児クラスは、保育園の周辺を散歩したり、近隣の公園へ出かける。

1～2歳児は、電車を見に行ったり、近隣の公園へ出かける。

※行先は、利用乳幼児の発達や体調によって変わる。

## 7 給食等について

提供方針	*季節の食材を取り入れ、安心して食べられ、丈夫ながらだづくりを助ける給食の提供に努めていく。
提供方法	*自園調理
昼食・おやつ	*保護者には、前月末日までに翌月の献立表を配布する。
アレルギー等への対応	*食物アレルギー除去対応は可能な範囲で行う。その際、必ず医師の指示書が必要である。(食物除去は完全除去が基本) 保育園の「食物アレルギー対応マニュアル」を職員間で周知して対応する。
衛生管理等	*給食の提供については「保育所における食事の提供ガイドライン（平成24

年3月厚生労働省)」に基づき実施する。  
＊健康増進法および食品製造業等取締条例に基づく給食開始届を、  
保健所に届出済み。  
＊調理員および保育従事者は、毎月細菌検査（検便）を行っている。

## 8 防災計画

事業所の防災計画を作成するとともに、避難訓練等を年12回実施する。

施設長（兼 防火管理者・防災管理者）総指揮

保育士・保育補助 救助担当 利用者への避難誘導及び見守り担当

連絡・報告担当

## 9 利用日・利用時間

月曜日～土曜日 7：30～18：30

## 10 資金計画

通常の運営経費は、小規模保育事業給付費、利用者負担金収入等でまかなう。

## 放課後児童健全育成事業

### H31年 未来こどもランド学童保育 事業計画

○H31年度 定期利用児童 12名

一時預かり枠登録者一時預かり枠登録者  
(定期スポット、単発スポットを含めて) 25名

対象児童 小学1年生～小学6年生

利用児童にダウン症のお子さんがおり、インクルージョンでのメリットを活かしつつ、療育的側面をもちながら集団生活の中での成長を見守っていく。未来こどもランドの障害児療育の資源や、今までの保育の中での療育経験を生かして保育に当たりたい。

行事などは、今まで通り子どもたちのあそびから発展した活動と、季節を感じさせるイベントを従来通り行い、子供たちの情緒成長を大切にしていきたい。

## 地域子育て支援拠点事業

### H31年度 すまいる・石神井 事業計画

「すまいる・石神井」「すまいる・高野台」で年間を通じ季節行事などを行っていく。

- ・合同イベントの開催～コンサートやリトミック、運動会、クリスマス会などを行う。
- ・石神井公園の草地ひろばでの運動会開催
- ・公園での外遊び

○すまいるサポート○ ～一時預かり事業～

周囲への認知が進み利用数も安定、昨年度の利用数も若干の増加という結果だった。  
周辺幼稚園の年間行事等で、預かり人数が多い日もあるので事故がないようにまずは安全第一で保育をするよう、環境整備と並行し保育士への研修などを行っていきたいと思う。

## H31年度 すまいる・高野台 事業計画

「すまいる・石神井」「すまいる・高野台」で年間を通じ季節行事などを行っていく。

- ・合同イベントの開催～コンサートやリトミック、運動会、クリスマス会などを行う。
- ・石神井公園の草地ひろばでの運動会開催
- ・公園での外遊び

### **指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業**

#### 未来こどもランドすまいる相談支援室

**利用契約者数** 平成31年3月 現在 265名 モニタリング予定(新規時・更新時他)

**職員人数** 事務 1名 管理者・相談支援専門員 1名

#### **活動内容**

前年度に比べ契約者数が増えた。定期的に保護者の方と面接を行い利用者さんの情報を聞きしながら、ご利用になりたいサービス内容を盛り込んだサービス計画案を作成する。また、同時に他のサービスが必要な場合には情報提供を行う。

福祉サービスを継続する方には、適切なサービスが提供されているか、新たなニーズが無いかを確認しながらサービス計画を作成する。

半年に1回のモニタリングでは、サービス計画が各事業所が的確に遂行されているか確認をしながら新たなニーズが無いか等聞き取りモニタリング報告書を作成する。

# 障害児通所事業

## 令和元年度 放課後等デイサービス すまいる・ステップ事業計画

### 平成30年度について

- ・来年度小学生のみの移行期間として、中学生6名・小学生20名の利用契約者が在籍。
- ・活動内容や療育内容の日々のプログラムの工夫を行いました。
- ・正規職員の退職・異動がありましたが、現職員が団結して乗り越えることができました。10月より新たに正規職員が入り、更に体制が整いました。
- ・利用者の送迎範囲の小学校を限定し、帰りの送迎ルートも見直しをしたことでドライバーの負担が減りました。
- ・小学生用に学校と同じ形の机と椅子を6台導入。子供の身長に合わせた高さに個別設定することで、足が床に着き、落ち着いて活動に参加できるようになりました。

### 年間計画

- ・今年度よりステップは小学生のみの在籍に変更します。
- ・週2日以上のご利用を実施。
- ・年間行事計画に基づいて保育を行います。
- ・夏休みの1日保育は、一人2回参加できるように計画。  
戸外：光が丘の「われもこう」で昼食、板橋教育科学館で科学体験  
室内：お弁当作りとかき氷作り
- ・ツリーでの合同イベントの実施。
- ・保護者会を年1回実施します。
- ・保護者面談を年2回実施します。

### 今後の課題

- ・OTからの支援アドバイスを、更に保育に生かしていくようにしていきます。
- ・職員の役割分担の見直しと共に育成。
- ・施設内の環境整備。

## 平成 31 年度 放課後等デイサービス すまいる・ツリー事業計画

### **年間計画**

- ・曜日固定、グループ固定にすることで保育の充実

より個別に支援が出来るように小グループで継続支援を実施する。

また職員も固定する事によって、日々の変化を敏感に捉えられるようとする

- ・年間行事計画を出来るだけ詳細に立てることで保護者に協力を求める。

見通しを持って通う事で、楽しく通ってもらう

買い物では近くのコンビニと連携して自分の好きなおやつを購入したり、自販機で好きな飲み物を購入する

お金の使い方、お金の概念も学んでいる。また、交通ルールや公共のマナーが学べるようにしている。

音楽では拍打ちしたり、歌やダンスや楽器を演奏したりして思い思いに楽しむ

おやつ作りは季節の食材を使い、簡単に出来るものをつくる。

運動では、体操やサーキット、ゲームで楽しみながら体を動かしていく

工作では季節の行事にふれながら、手の巧緻性が高められるように課題を設定している。

避難訓練は年に 5 回実施し、緊急の事態でも対応できるように練習をする。

- ・長期休みの時の長時間保育の取り組み

夏休み期間中の長時間お預かり回数を増やしている。昼食作り 2 回、コンビニへ昼食を買いに行く、遠足

帰りの送迎時間は保護者の負担にならないように、繰り上げはしていない。

- ・すまいる・ステップとの交流

年に 2 回実施し、異年齢との交流を図る

いつもと違う場所での楽しさや、体育館での遊びが楽しめるように設定する。

### **今後の課題**

・利用者の登録人数を削減して、利用日数を増やしていく。その為に計画課題内容の精査が必要となる。

### **在籍人数**

32 名 (一日利用平均 12 から 13 名)

## 平成 31 年度 児童発達支援事業 すまいる・キッズ事業計画

### 利用者数

例年 4、5 月は午前 2 グループ（2 歳児対象）が新入児に入れ替わることで実績数が減少する。前年度からの待機児確保が必要だが、1 歳児で児童発達支援への通所を考える保護者は少なく、引き続き、安定した待機児確保の難しさを感じている。31 年度も近隣の保健相談所を中心にパンフレットを配布することと合わせ、MKL の HP も活用していきたい。

31 年度も、午前 2 グループと個別療育について振替日（枠）を設け、積極的な活用を呼び掛けることで、実績数増加に向けての努力を継続していきたい。

### 活動内容

31 年度の新しい試みとして、午前グループの保護者に石神井町つつじ保育園で実施している『つつじっこくらぶ』への参加を募っていきたい。30 年度実施の【児童発達支援評価表】の結果から、就園前の保護者は同年齢親子との関わりを求めてはいるが、その機会を持てていない保護者が多いことがわかった。まずは職員が付き添い参加することをきっかけに、徐々に親子で参加できるよう、橋渡しができればと考えている。

さくらんぼグループ（就園児の小集団）は、定員を 1 名増やし、7 名にする。

週 2 回、同じ職員や友だちと過ごす安心感の中で、お互いを認め合ったり、異年齢集団だからこそ得られる刺激を受けたり、仲間意識が育めるようにしていきたい。

保護者の多くは、子どもの発達に対する不安感を常にもっている。保護者の小さな変化にも気付けるように職員同士で情報を共有すると同時に、子どもの小さな成長を、一緒に喜び合える関係作りを大切にしていきたい。今まで同様、保護者からの相談には随時応じ、合わせて就園、就学に向けての情報提供もしていきたい。

### 年間計画

【季節の製作・活動】こどもの日、七夕、お月見、クリスマス、節分、ひなまつりの製作を通して、伝承行事に親しみを持ったり、様々な素材や道具に触れる経験を持つ。

【避難訓練】毎月、地震または火災を想定した、集合訓練や建物内避難訓練を実施する。

さくらんぼグループ（就園児主体の小集団）は防災頭巾をかぶる経験もしていく。

【保護者会】午前グループ（2 歳児対象）保護者 5、7、12 月実施予定

さくらんぼグループ（就園児の小集団）保護者 4、2 月に実施予定

【保育参観】さくらんぼグループ（就園児の小集団）保護者 8、2 月に実施予定

【保護者交流会】就園児保護者対象 5、6 月にすまいる・ヴィヴィファイにて実施予定  
保護者同士の親睦と就学に向けての情報提供を行う。

【個別支援計画 面談】6 カ月毎に 1 回以上実施

## 2019年度 就労継続支援B型 すまいる・フォレスト事業計画書

**事業目的** 利用者が日々笑顔で毎日を過ごせるように、働く生活を通じて、自立に必要な「生活力・仕事力・余暇力」の知識や技術を育成し、「社会力」を身に付ける事で「自己実現」を目指す。また、集団生活を通じてコミュニケーション能力の向上を図ると共にルールやマナーを身に着ける事で「協調性」を養っていく。

**利用定員** 1日20名

**利用契約者数** 17名（2019年6月現在）

**待機登録者数** 0名

**職員人数** 8名

- ・管理者（施設長・社会福祉士）1名
- ・サービス管理責任者（保育士）1名
- ・目標工賃達成指導員（介護福祉士）1名
- ・支援員（非常勤職員）5名

### **作業・活動計画**

◎今年度より、事業所内多機能化を実施していく。利用者個人の年齢や予定在籍年数や特性を考慮して3チーム編成を行い、作業種や時給、支援内容等も配慮していく

#### \*週間での取り組み

- ・受注作業（クロネコDM便・S字フック封入・パルプ計量・チップ封入・電気部品封入・グローブ作業・フラワーベース制作・シール貼り等）
- ・生産作業（・絞り染エコバック、Tシャツ、ストール・ノート、手帳各種・くるみボタン製品・刺繡製品等） \*クルミルショップからの発注・納品

#### \*月間の取り組み

- ・販売会出店（ハッピースマイルフェスタ年7回・月～金5日）
- ・ねりいち（月2～3回）
- ・余暇活動 每月第3金曜日（歓迎会・各種外出・映画鑑賞・ボーリング・登山・新年会・バスツアー等）
- ・身体測定 每月第2金曜日（体重、血圧）

#### \*2カ月毎の取り組み

- ・ケース検討会 第1木曜日 PM13:00～18:00（5月・7月・9月・11月・1月・3月・ケース検討会）

#### \*3カ月毎の取り組み

- ・作業評価表の作成、利用者面談、個人カンファレンス等実施
- ・避難訓練（不定期、無連絡にて実施）

\*6 カ月毎の取り組み

- ・個別支援計画書作成・工賃検討会議・家族会（9月、2月）等

\*法人連携の取り組み（法人連携）

- ・法人内保育園の入園児用バック・卒園児用コサージュ等の制作販売
- ・法人内保育園タオル、ポロシャツ等の刺繡・各種イベント缶バッヂ制作
- ・法人学童前等実施（月1回 気候等で変則開催）
- ・各事業所の保護者会等で生産品の販売が出来ないか？相談、検討していきたい

**今年度の実施計画**

\*利用者確保…定員数に満たないので今年度も、見学、実習等を積極的に行っていく。

また、1週間での利用日が2～3日の方もいるので支援の充実で日数を増やし、余剰定員の確保で日々の利用者数を平均15～18名にして行きたい。

\*受注作業… 柱になる通年の作業種は増えているが、今年度もレインボーワークの共同受注を主に営業活動を行う。その中で、選択して薄利多売の作業種を減らしていく。また、取引先企業との関係を深め、単発作業の受け入れや賃金交渉等も行っていく。

\*生産作業… 今年度も、現行の製品を主に染物、壁紙、くるみボタン等の制作を行ない、商品開発等も行っていく。また、昨年購入した工業用ミシンを有効的に使う事で商品価値を上げていく。また、東京都のクルミルショップへの注文販売の継続や参加する販売会を増やす事で売り上げや作業充実に繋げていく。

\*余暇活動… 今年度は、職員提案だけでなく利用者さんからのアンケートの実施等で要望にも応えていく。また、個人の事情等で仕事を希望、選択する方の保証も行っていく。

\*一般就労体験… 対象利用者さんには、定期的に法人内カフェの店員体験を毎週火曜日木曜日・木曜日で行っていく。また、法人内保育所の用務業務等の見学、実習等も検討。レインボーワーク主催の障がい者企業見学会等にも参加していく。

\*利用者工賃…前年度平均工賃￥13,217に対して、東京都就労継続支援B型の平均工賃￥15,751へ近づけていく。今年度目標は平均工賃￥14,000。

## コミュニティカフェ社会貢献事業

### 平成 31 年度 みんなのカフェ すまいる・VIVIFY 事業計画

#### 事業目的

VIVIFY の意味合い「人を生き生きさせる」「輝かせる」「生気を与える」というように地域のみんなが生き生きと笑顔で暮らせることを願い、カフェを通じて地域住民同士の触れ合いの場、一人一人が自分の時間としてゆったり過ごせる場所であり、自己実現できる場所でもあること。

公益事業として申請したことにより、地域住民に対する貢献的な働きを求められている。

営業日 年中無休（11時～17時） 土日祝 12時～17時半

#### 実施内容

##### ドリンクと食事の提供

ドリンク（ホット）メニュー7種 ドリンク（アイス）メニュー5種 アルコール コロナビール

食事メニュー フランクフルト、ワッフル、トルティーヤチップス

隣のピーターパン（パン屋）とカシュカシュ（ケーキ屋）の商品（飲み物以外）の持ち込みを可とする。

パンは温めサービスを実施、ケーキもお皿とフォークを提供する。

##### レンタルスペース

平日は1時間1000円 3時間まで 土日祝は1時間2000円 2時間まで1時間延長は3000円

#### 地域の方とのコラボ

学びやしゃんていからの依頼で不登校の生徒がカフェ体験をしたように今年度も依頼があれば受けていく

石神井保健相談所の地域生活支援センターういんぐの介護の集いを年3回実施したように今年度も連携できるところは協力していく。

社会福祉協議会の石神井地域の社会福祉法人のネットでの会場になり、協力できるところは協力していく。

#### イベントの実施予定

ミニコンサートを定期的に実施していきたい。地域の演奏者やバンドなども増えて、土日のイベントになってきている。

レンタルボックスのメンバーと一緒にワークショップやイベントを企画していく（年2～3回程度）  
その他イベントを定期的に実施し、カフェを知ってもらうとともに来客数を増やしていきたい。

#### レンタルボックス

地域の作家さんに1か月の管理料を500円で、10ブースある。アクセサリー キーホルダーなど手作りのものが置かれて、華やかなブースになってきている。

ちょっとしたプレゼントを探しに来るお客様も増えてきているため、継続して行っていく。

### ブース席の利用

ワークショップの場として、法人内の打ち合わせ場所として、友人とのおしゃべりの場としてというように利用が増えてきている。周知されることで来客数を増やしていきたい。

### すまいる・フォレストとの連携

フォレストの生産品を置かせてもらい売り上げに繋げていく。

利用者がカフェの店員として働く（外部就労）

利用者と地域住民との交流にもつながる。

### 今年度のトライアル

就労継続支援 B型 すまいる・フォレストとの連携を外部就労という形で行っていく。

生産品を置き、来店客に施設を知ってもらい障害者の工賃アップに貢献している商品ということも併せてわかるような展示とする。

社会貢献事業として考えていくため、ドリンクやレンタルスペースなどの料金設定も下げているので、より多くの方に利用していただきたい。

持ち込みの周知がされてきて、両脇のピーターパンとカシュカシの売り上げにも商店街の仲間として貢献できるように継続していく。

レンタルボックスのメンバーや地域の方々との協働でとイベント企画を年2～3回行っていく。

経費をかけられない事業なので、営業時間や営業日なども常に検討事項としていく。

以上